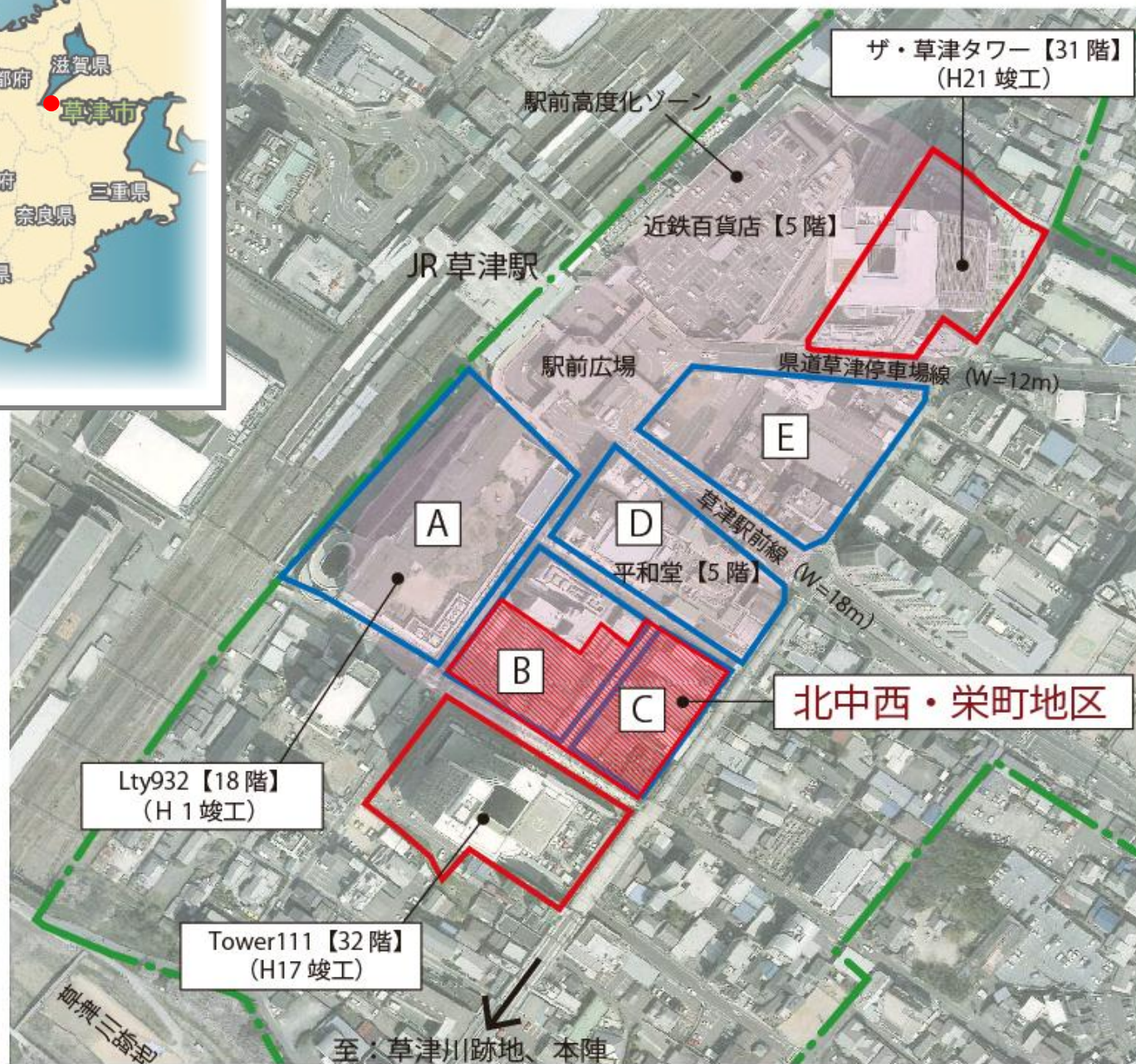


北中西・栄町地区 市街地再開発事業

H25.8.26 現在

【位置図】



【経緯】

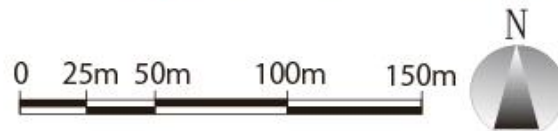
- 昭和 48 年度： 草津市駅前地区市街地再開発基本計画
⇒計画地の位置づけ：「再開発事業を目指すべき地区」
- 平成 11 年度： 草津駅東地域市街地総合再生計画
⇒計画地の位置づけ：「駅前高度化ゾーン（再開発事業等の活用地区）」
- 平成 19 年度： 北中西・栄町地区の街づくりを推進する会 設立
- 平成 21 年度： 北中西・栄町地区市街地再開発準備組合 設立

【建築概要】

所在地	滋賀県 草津市 大路ほか (草津市：人口約 12.6 万人、平成 25 年 3 月)	
用途地域	商業地域、防火地域 (指定建蔽率 80%、指定容積率 600%)	
建築概要	地区面積	6,700 m ²
	敷地面積	5,700 m ²
	主要用途	住宅 21,857 m ² [276 戸] 店舗 2,274 m ² [36 店舗] ※面積は専有面積

凡 例

- 草津駅前地区市街地再開発基本計画で位置づけられた地区 (S48 年度)
- 草津駅東地域市街地総合再生計画の区域 (H11 年度)
- 駅前高度化ゾーン※



※ 駅前の利便性の高い立地を生かし、多様な都市機能を集積できるように市街地再開発事業、優良建築物等整備事業などを活用し、土地の高度利用を促進

【目的、整備方針等】

- 目的： ①中心市街地の活性化 ②コミュニティ醸成 ③周辺との連携によるまちづくり促進
 目標： 子供から高齢者まで、みんなが“楽しく・安心”して暮らせる まちなかづくり
 整備方針： “賑わいプロムナード”の創出
 効果： ・観光客等が、より多く訪れて賑わい、まちが元気になる。
 ・市民等のまちの対する愛着が増し、定住促進につながる。

【目的等を達成するための5つの主要テーマ】

＝まちづくり＝
＝中心市街地の活性化＝

- ▼【課題】
 ・駅前と本陣、草津川跡地を繋ぎ魅力を連続化する役割への期待対応
 ・中心市街地にふさわしい歩行者散策空間、商業機能等の整備
- ▼【テーマ】
 ＝回遊促進型の機能整備＝
- ▼【効果】
 ・集客エリアの拡大
 ・歩行者の快適性、安全性の向上
 ・まちへの愛着の増加
 ・交流、賑わいの増加

＝少子高齢化＝

- ▼【課題】
 ・少子高齢化への対応
- ▼【テーマ】
 ＝まちなかでの支援機能の整備＝
- ▼【効果】
 ・子育て、高齢世帯の暮らしやすさの向上
 ・集客対象の拡大
 ・交流、賑わいの増加

＝コミュニティの醸成＝

- ▼【課題】
 ・空き店舗対策の個別実施 ・再開後の空き店舗対策への備え ・新旧住民の交流促進
- ▼【テーマ】
 ＝柔軟な維持管理運営の実施＝
- ▼【効果】
 ・まちなか機能の魅力持続 ・イベントを通じた新旧住民の交流
 ・清掃の協働、まちづくりを担う組織への委託等を通じた地域とのまちづくり連携

＝防災・安全＝

- ▼【課題】
 ・中心市街地の防災化対応
- ▼【テーマ】
 ＝既成市街地ゾーンを含めた防災性向上＝
- ▼【効果】
 ・周辺地区の防災性アップ
 ・街区の耐火、耐震性の一括アップ

＝環境配慮＝

- ▼【課題】
 ・新しいまちづくりでは環境負荷軽減は必須
- ▼【テーマ】
 ＝魅力化を兼ねた環境配慮策＝
- ▼【効果】
 ・子育て、高齢者サポート施設の魅力アップ（一体利用可能な屋上広場）
 ・まちなかの緑景観化促進への波及
 ・低炭素社会促進への寄与

